

2022 年度

ニュージーランド 留学報告書

実習先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：9月17日～1月21日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21021042
氏名：小林蒼衣

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4.5
4-2. 留学の詳細	5
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6
付録：留学日誌	7.8

1.留学先及び留学期間

留学先：ニュージーランド国立ワイカト大学

留学期間：令和4年9月17日(土)～令和5年1月21日(土)

2.留学先概要

(1)大学について

ワイカト大学は、ニュージーランドで4番目に大きな都市ハミルトンに位置する国立総合大学である。64ヘクタールもの広大なキャンパスには3つの池があり、その周りを色とりどりの花や木々が取り囲む、自然と調和した素晴らしい環境にある。80ヶ国から約2,000人の留学生在籍しており、学生はスタッフによる手厚いサポートを受けることができる。また、キャンパスの敷地内には図書館やスポーツジム、カフェなどの様々な施設が完備されている。

(2)大学で行われている教育について

ワイカト大学にはWPC(Waikato Pathways College)という英語プログラムがある。本学の派遣留学生はこのプログラムの一般英語とアカデミック英語の2つのコースを受講し、英語4技能をバランスよく学んだ。クラスは8つのレベルに分かれ、初日に実施されるプレイスメント・テスト、またはIELTSスコアの提出によって、個々のレベルに応じたクラスで安心して学習することができる。

3.留学目的

今回の留学の目的は、英語力の向上と異文化理解である。日本での英語学習は文法やリーディングなどが中心であり、スピーキング力やリスニング力を向上させることは難しく、苦手意識を持っていた。そのため、英語しか通じない環境に身を置くことで、苦手なスピーキングとリスニングの力を効率よく高められると考えた。また、海外での生活を通して、現地の文化を直接肌で感じたり、新たな価値観を得たりすることにより、自分自身の視野を広げることも留学の目的とした。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	内容
9	18(日)	到着
	19(月)	オリエンテーション、キャンパスツアー
	20(火)	General English 開始
	25(日)	Taupo
10	1(土)	Hobbiton Movie Set Tour
	8(土)	Waitomo Cave
	9(日)	Rotorua
	10(月),11(火)	Maori Study
	23(日),24(月)	Auckland
	31(月)	Academic English 開始
11	29(火)	Writing Test
	30(水)	Speaking Test
12	1(木)	Listening Test
	2(金)	Reading Test
	17(土)	Christmas and New Year Holiday 開始
	19(月),20(火)	Auckland
	27(火)~30(金)	Wellington
1	3(火)	Christmas and New Year Holiday 終了
	17(火)	Writing Test
	18(水)	Speaking Test
	19(木)	Listening Test
	20(金)	Reading Test
	21(土)	出発、帰国

時間割

午前の授業は前半後半に分かれており、10時半頃に休憩がある。

	月	火	水	木	金
午前 9:00~12:00	General English/ Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English
お昼 12:00~13:00					
午後 13:00~15:00	General English / Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English	General English / Academic English
放課後				English Club	

4-2. 留学の詳細

〈授業内容〉

・ General English

主に教科書を使用しながら授業が行われ、英語の4技能をバランスよく学ぶ。スピーキングなどの様々なアクティビティを通して、英語を楽しく学ぶことができる。

・ Academic English

General English よりもキャリアなどにも活かせるアカデミックな英語を学ぶとともに、英語4技能の土台を築くことに焦点を当てて、全体的な英語力の向上を図ることができる。また、General English と比べ、アクティビティの難易度が少し上がり、英語力をより高められる。

・ English Club

毎週木曜日の放課後に行われ、現地の学生と交流ができる。学生たちと楽しく会話をすることができ、仲良くなる良い機会でもあった。

5. 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的は英語力の向上と異文化理解であった。留学序盤は現地の人々が話していることが理解できないことがあったり、英語が聞き取れず何度も聞き直したりする場面があった。しかし、次第にネイティブの話すスピードにも慣れてきて、相手の話していることを理解して返答することができるようになり、リスニング力とスピーキング力の向上を感じた。また、生活リズムや食生活、クリスマスなどのイベントにおいて、文化や習慣、考え方の違いを実際に体験し、今まで知らなかった多様な価値観に触れることができた。そして、異文化を知ることで、マナーの良さや日本食のおいしさなどの日本の良さについても改めて知ることができた。

6. 反省・課題

4ヵ月という短い期間であったが、非常に多くのことを学び、有意義な時間となった。初めてのホームステイでの生活は苦勞することが多かったが、新しい環境への適応力や精神力の向上など英語力以外に関しても自分自身の成長につながり、かけがえのない経験ができた。今回の留学を通して、英語力の向上、異文化理解を深めるという目的は達成できたが、はじめは英語を話す機会があってもあまり話すことができず、もっと積極的に話しかけたり質問したりするべきであったと考える。これからは TOIEC のスコアアップや英語検定などの資格取得に挑戦し、さらなる英語力の向上に精進したい。

謝辞

今回お世話になったニュージーランド国立ワイカト大学の先生方、新潟国際情報大学の先生方、両親、その他大勢の方々に心から感謝いたします。また、新潟国際情報大学から頂いた奨学金により大変貴重な経験ができたことも重ねて感謝申し上げます。

付録：留学日誌

9月25日	Taupo
学校のツアーに申し込んで、Huka Falls を見たりタウポ湖でクルーズをしたりした。タウポの自然の美しさを感じられ、とても楽しかった。	



10月9日	Rotorua
ロトルアでは羊のショーやマオリショーを見た。世界でも有名なマオリの伝統舞踊のハカは特に迫力があり印象に残っている。	



12月19日、20日

Devonport (Auckland)

オークランド市内からフェリーでデボンポートに行った。山の上から一望できるオークランドの景色もフェリーからみた夜景もとてもきれいで感動した。

